

四季あざやか、雄大な自然を満喫。ここは国立公園「雲仙」仁田峠。

「色鮮やかなフロログ、ミヤマキリシマ」
春は麓よりゆっくり昇ってきます。木々が浅黄色から緑に色を変えるとミヤマキリシマが淡紅色に山肌を染め、少しずつ長くなった日差しに風もなごみます。雲仙ロープウェイ仁田峠駅周辺にも見事なミヤマキリシマの群落があり、妙見岳から国見岳では6月中旬まで花が楽しめます。また、雲仙で花見といえばツツジ、ミヤマキリシマを愛でることです。



温泉街遠望



夏の妙見岳

「深緑に野鳥が遊ぶ、自然冷房の別天地」
海拔1,080mの仁田峠から更に300mほど上の妙見岳へ。吹き上げてくる風は豊かな緑にたっぷり冷やされ、まさに自然冷房。季節を忘れたかのようにさえずるウグイスやホオジロ、センダイムシクイ、ツツドリ、クロツグミなどの姿が見られます。ご家族で自然体験できるのも仁田峠周辺ならではです。

「くれないに燃える全山、紅葉は県下屈指」
仁田峠から妙見岳、国見岳、普賢岳などの山腹が紅葉しはじめるのは10月下旬頃から、コミネカエデ、ウリカエデ、コハウチワカエデ、ウリハダカエデなどの葉が美しく紅色に変わります。紅葉する植物は120種ほど、一帯は「普賢岳紅葉樹林」として国の天然記念物に指定されています。このあと紅葉は麓に下って行きます。



国見岳の紅葉



霧水

「厳寒の夜半に結水、自然が生む透明な芸術」
地元の人達が「花ぼろ」「花ぼうろ」と親しみを込めて呼ぶ霧氷は、明け方の厳しい寒気が生み出す自然の造形です。霧氷は過冷却された雲や霧が強い北風で木の枝などに付着し凍り付いたもので、朝日が当たるとキラキラと輝き、水晶宮に誘われたように思えます。見られるのは1月と2月が多く、妙見岳、国見岳間の自然歩道で早朝がおおすすめです。

雲仙ロープウェイ 会社概要

雲仙ロープウェイは昭和32年(1957)の開業で、仁田峠駅～妙見岳駅間を標高差175mを距離500mで結んでいます。開業当時のゴンドラは定員26人の最新型でした。現在のゴンドラは「ぎんが」と「きんせい」で、足元近くも見られるような広い窓が特徴で定員は36名(大人)、小学生なら53名が乗車でき、仁田峠駅～妙見岳駅間500mを約3分で上下します。運行時間は午前8時51分より午後5時30分、運転間隔は4分～8分で、ほとんど待たずに乗車できます。また運行時間は季節により延長する場合があります。荒天時は運休する場合があります。



施設のご案内

- 様式/三線交走式観光ロープウェイ。
- ゴンドラ/36人乗/22輦(小学生定員53名)。
- 距離/仁田峠駅～妙見岳駅500m 所要時間3分。
- 運行時間/8時51分～17時30分、4分(又は8分)間隔の運転。(都合により延長する場合があります)



交通のご案内

- AIRPLANE/飛行機
長崎空港より雲仙(バス1時間50分)～仁田峠(バス25分)
- TRAIN/鉄道
JR長崎駅より雲仙(特急バス2時間)～より仁田峠(バス25分)
JR諫早駅より雲仙(バス1時間40分)～より仁田峠(バス25分)
島鉄島原駅より雲仙(バス45分)～より仁田峠(バス25分)
- CAR/自家用車・バス
長崎より雲仙(1時間30分)～より仁田峠(バス25分)
諫早インターより雲仙(1時間)～より仁田峠(バス25分)
長崎よりアンセラス号で雲仙(直行バス1時間35分)～仁田峠(バス25分)
島原外港より雲仙(35分)～仁田峠(バス25分)
- SHIP/船
熊本・三州・大牟田より島原外港着～雲仙(バス30分)～仁田峠(バス25分)
熊本長洲港より多比良老着～雲仙(島原経由バス1時間)～仁田峠(バス25分)
熊本鬼池港より口之津港着～雲仙(バス1時間)



お問い合わせは 雲仙ロープウェイ株式会社

〒854-0621 長崎県南高来郡小浜町雲仙551 ☎0957(73)3572 FAX0957(73)2340

雲上快晴一望千里

国立公園初のロープウェイ
UNZEN ROPEWAY

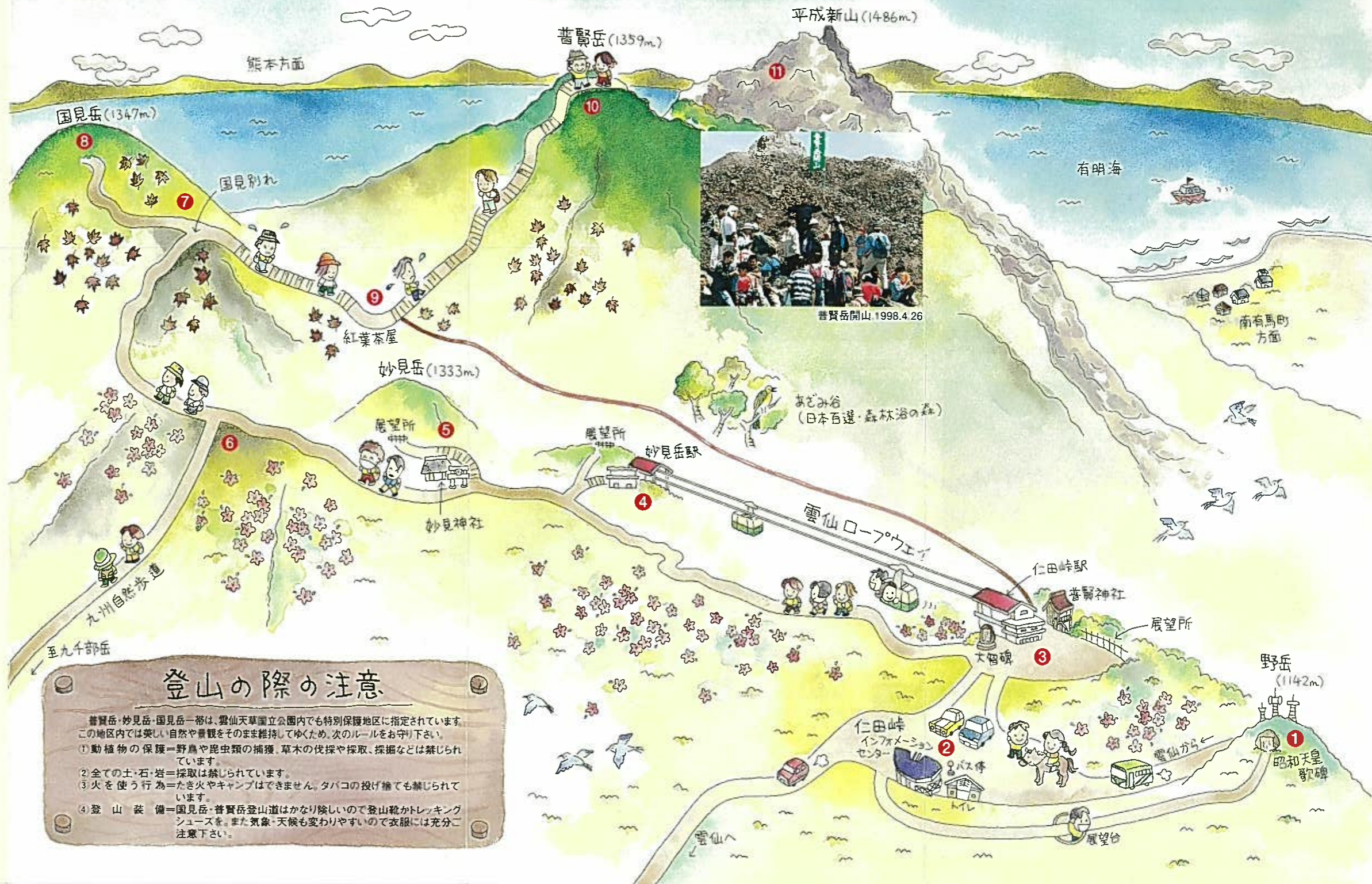
NATIONAL PARK UNZEN
雲仙ロープウェイ株式会社

仁田峠・普賢岳周辺の一口ガイド

雲仙ロープウェイを上手に利用して
絶景の妙見岳、国見岳、普賢岳へ。

- ◎妙見岳駅→妙見岳(片道 約10分)
 - ◎妙見岳駅→国見岳(片道 約45分)
 - ◎妙見岳駅→普賢岳(片道 約60分)
- ※所要時間は平均です。

- 1 野岳(標高1,142m) 仁田峠インフォメーションセンター横より頂上まで起伏ゆるやか。約15分。国指定「野岳イヌツゲ群落」「昭和天皇歌碑」があります。
- 2 仁田峠(標高1,080m) 仁田峠インフォメーションセンターは島原半島の総合案内所。循環バス発着所。駐車場は1時間まで無料。野岳登山道途中の展望所から雲仙温泉街が望めます。
- 3 雲仙ロープウェイ仁田峠駅(標高1,100m) 第1展望所下は赤松谷、溶岩崩落の跡が見えます。周辺に普賢神社、大智碑があり社屋にはレストランも。
- 4 妙見岳駅(標高1,300m) 休憩所を兼ねたギャラリーでは普賢岳噴火当時の写真を展示。屋上は展望台で仁田峠周辺からオンドリの池、雲仙ゴルフ場、雲仙温泉街を一望。周辺に3カ所の展望所があります。
- 5 妙見岳(標高1,333m) 妙見神社横に登山道があり、頂上から北東に平成新山、普賢岳。北に国見岳が望めます。眼下はアザミ谷です。
- 6 九州自然歩道分岐点(標高1,280m) 妙見神社よりここまでゆるい下りで尾根沿い。自然歩道をそのまま下ると約2時間30分で九千部岳です。
- 7 国見別れ(標高1,298m) 国見岳への分岐点です。目の前に国見岳がありますが、頂上までの登山道はつづらおりの急坂ですから足元にご注意下さい。
- 8 国見岳(標高1,347m) 山頂はドーム状。風の影響で低い木と草原ですが普賢岳、平成新山、遙かに九千部岳、千々石湾が見えます。普賢岳との間には紅葉の名所鬼人谷があります。
- 9 紅葉茶屋(標高1,180m) 国見別れからここまで急勾配の坂道、足元にご注意下さい。かつて紅葉の季節には茶屋が出ましたが今は地名だけ。
- 10 普賢岳(標高1,359m) 紅葉茶屋より頂上まで急坂。足元にご注意。頂上から目前に平成新山(立入禁止)が見えます。開けた展望は島原半島各地から海をへだてた熊本も見渡せます。
- 11 平成新山(標高1,483m) 普賢岳の東にあります。平成2年、約二百年ぶりに噴火し、現在は終息宣言が出されていますが登山は禁止されています。平成8年5月、平成新山と命名されました。



登山の際の注意

普賢岳・妙見岳・国見岳一帯は、雲仙天草国立公園内でも特別保護地区に指定されています。この地区内では美しい自然や景観をそのまま維持してゆくため、次のルールをお守り下さい。

- 1 動植物の保護＝野鳥や昆虫類の捕獲、草木の伐採や採取、採掘などは禁じられています。
- 2 全ての土・石・岩＝採取は禁じられています。
- 3 火を使う行為＝たき火やキャンプはできません。タバコの投げ捨ても禁じられています。
- 4 登山装備＝国見岳・普賢岳登山道はかなりの険しいので登山靴かトレッキングシューズを。また気象・天候も変わりやすいので衣服には充分ご注意ください。